

教科	科目	学年	単位数
中学校技術・家庭	家庭分野	1 年	1
使用教科書		副教材	
技術・家庭 家庭分野（開隆堂）		家庭科ワークノート（地域教材社）	

1. 学習到達目標

衣・食・住などに関する実践的、体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

2. 評価の観点と方法

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 主に定期テスト・作品をもとに評価する。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 主に定期テスト・ワークシート・調べ学習をもとに評価する。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。 主に提出物・持ち物・授業態度をもとに評価する。

3. 学習内容（右ページ参照）

4. その他（科目の特徴や学習の注意点など）

- ・毎日の生活そのものが学習題材となるので、身の周りのいろいろなものに関心を持って疑問や知りたいことを見つけましょう。
- ・家庭科は実習、発表など生徒自身が主体となる授業内容が多くあります。積極的に授業に取り組みましょう。
- ・授業で学んだことは、できるだけ自分の生活の中で実践してみましょう。

	月	単元・試験	授業内容	その他（到達目標・学習のポイントなど）
一学期	4	○ガイダンス	・自立ってどんなこと？	・自立についてのイメージを発表し合い、自立の条件をまとめます。これまで自分を支えてくれた人、もの、エピソード、これから家庭科で学びたいことをまとめます。
	5	○わたしたちと家族・家庭と地域	・家庭のはたらき ・家庭の仕事を支える社会 ・わたしたちと地域社会	・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解します。家庭での自分の役割について考えます。 ・家庭生活を支える地域活動を理解し、中学生としての関わり方を考えます。
	6	○わたしたちの衣生活	・衣服の役割 ・布の観察	・衣服の目的に応じた着方、個性を生かした着方について学習します。
	7	○わたしたちの衣生活 期末試験	・繊維の原料と特徴 ・衣服の手入れ (ア)洗剤の働き (イ)羊毛のフェルト化 (ウ)廃油せっけん ・衣服の構成を知ろう ・体育祭ハチマキの製作	・羊毛、綿花、麻、化学繊維にふれてそれぞれの特徴について学習します。 ・せっけんと合成洗剤の違いを理解し、環境に配慮した洗たくの仕方を学習します。 ・和服と洋服の構成の違いを学習します。 ・ミシンを使い、三つ折り、端ミシンの技術を身に着けます。
二学期	9	○布を用いた小物の製作	・ファスナーポーチの製作	・小物を収納できるファスナーポーチをミシンで製作します。
	10			・ミシンの正しい扱い方、ミシン縫いの基礎を身に着けます。
	11	○わたしたちの消費生活と生活環境	・消費生活のしくみ ・商品の選択と購入 ・生活情報の活用 (広告の読み取り)	・消費生活のしくみを理解し、消費者として有効にお金を使えるように意識を高めます。
	12	○わたしたちの消費生活と生活環境 期末試験	・消費生活について考えよう (買い物ワーク演習)	・あふれる情報に惑わされないメディアリテラシーを身につけます。 ・いろいろな販売方法の利点や問題点について考えます。 ・いろいろな支払い方法の特徴について学習します。
三学期	1		・消費者としての自覚をもとう	・消費者の基本的な権利と責任について学習します。 ・自分の消費生活をふり返り、問題点を見つけます。
	2		・生活の中で環境への影響を考えよう	・環境に配慮した消費生活の工夫について考えます。
	3	学年末試験	・調理実習 (カップケーキ)	・調理室の使用方法を学びます。